

全道議員研修会レポート

— 令和5年7月4日開催 —

北海道町村議長会主催の全道議員研修会が札幌コンベンションセンターで開催され、議員8名が参加しました。

全道から町村議会議員など関係者が多数集まり、講師2名の講演による研修をしました。



会場の様子

講演 ①

「ウクライナ危機後の世界と日本」

講師 ひょうご震災記念21世紀研究機構
理事長 いおきへ 五百旗頭 真 氏

- ウクライナ危機から日本人が変わった。普段政治や国防に関心のない方々からも危機感のある声を聴くようになった。
- 日本は攻められないために備える必要がある。そのためには自助努力、諸外国との連携、国際世論での存在感が重要。



研修に参加した議員

講演 ②

「日本政治の舞台裏」

講師 政治ジャーナリスト
田崎 史郎 氏

- 現政権が考える日本の危機は「安全保障」と「少子化」であり、防衛費の増や育児休業制度の充実といった対策を行っている。
- 政治の世界でも普段からの人間関係が大切。日頃から他者の助けとなるように行動していれば、いざという時に協力してもらうことができる。

議会では「議会議員研修条例」を定めており、研修に参加した議員は、成果報告書を議長へ提出し、定例会で報告されます。今回の研修については「定例会9月会議」で報告する予定となっております。